(1)芦田川の適切な維持管理について

河川堆積土等の対応状況

Hiroshima Prefecture
広島県

有地川合流部における状況

【伐採前】

撮影日：平成26年10月14日

【伐採後】

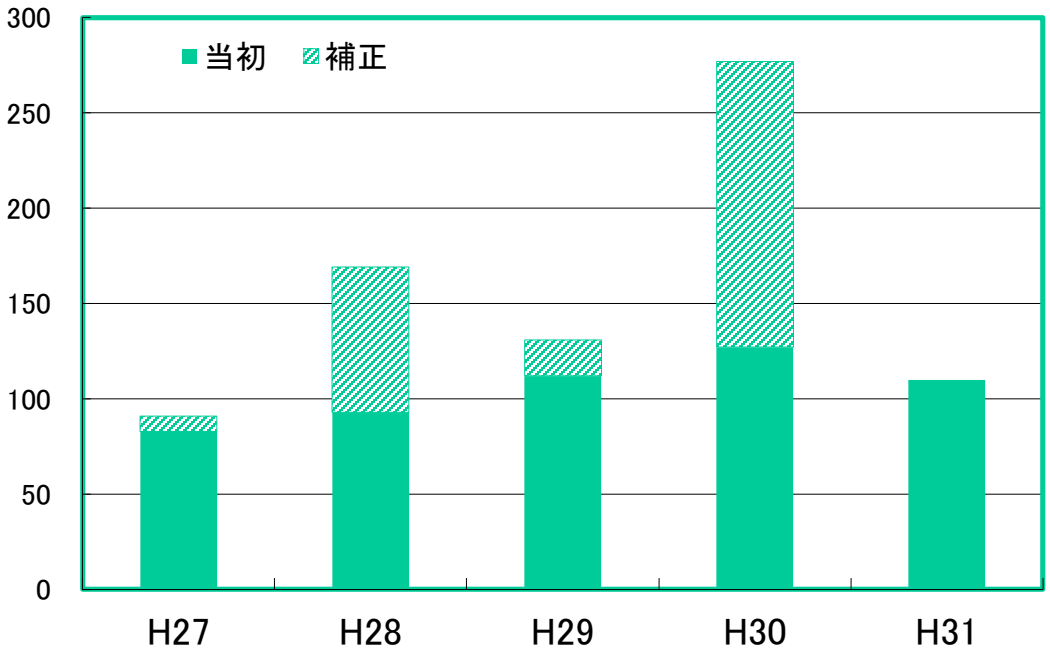
撮影日：令和元年5月24日

国土交通省 福山河川国道事務所 HPより

河川堆積土等の対応状況について

- 東部建設事務所における河川堆積土等の対応について、今年度は、当初予算：約1.1億円を計上
- 新市町・芦田町地域は、治水上支障がある箇所について、必要な対応を実施
- 神谷川については、平成30年７月豪雨を受けて、緊急的に金丸地区の除去を実施

東部建設事務所における河道浚渫予算の推移〔単位：百万円〕



見谷川（新市町）

≪整備前≫

≪整備後≫

(2)重要ため池等の対応状況について

防災重点ため池等の対応状況

Ⅰ　現状と課題

1　農業用ため池の現状

・県内には全国で2番目に多い約19,772箇所（福山市2,198箇所）が存在し，多くは江戸時代以前に築造。

2　平成30年7月豪雨によるため池の被害と対応

（１）緊急点検の実施（約13,000箇所）

・過去の最大月間降水量を超える雨量(呉市約600mm等)を記録し，多くの被害が発生。
・県は陸路による防災重点ため池の点検と，自衛隊のヘリによる点検を実施。
・福山市駅家町では上流のグランドの崩壊により下流の２つのため池が決壊。

（２）対応

・損壊等により対処が必要なため池は，市町やため池管理者等が応急措置を実施。
・降雨予測や水位計などによる監視体制の強化

Ⅱ　対策の方向

1　議会の動き

・平成３０年２月定例会及び令和元年６月定例会において、防災・減災対策に対する意見書を議決

2　法律の制定

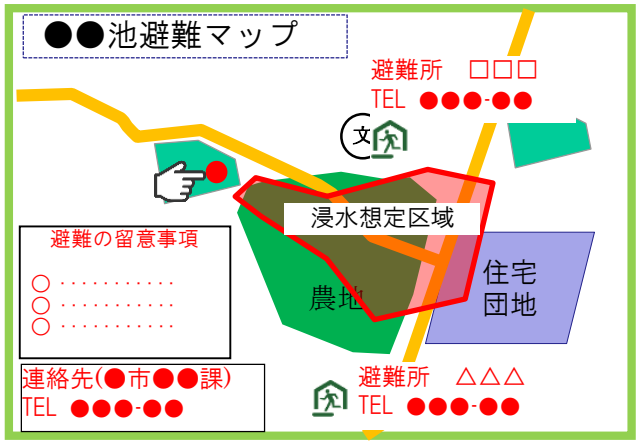
・「農業用ため池の管理及び保全に関する法律（令和元年7月1日施行）」が制定

3　福山市における「防災重点ため池」の再選定と今後の対策

Hiroshima Prefecture 広島県

区　分	ため池数	従前の防災重点ため池数	再選定後の防災重点ため池
福山市	2,187	175	**1,110**
新市町	119	15	**66**
芦田町	307	14	**133**

- **迅速な避難行動につなげる対策の推進**
- **利用するため池の管理強化と補強(施設機能の維持・補強)**
- **利用しなくなったため池の統合・廃止(施設機能の廃止)**



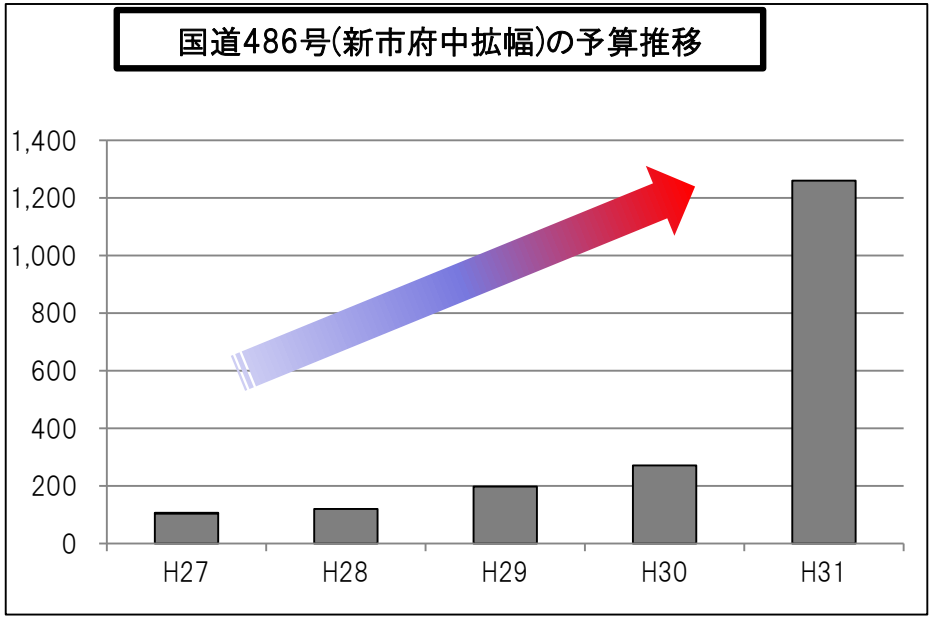
（ハザードマップのイメージ）

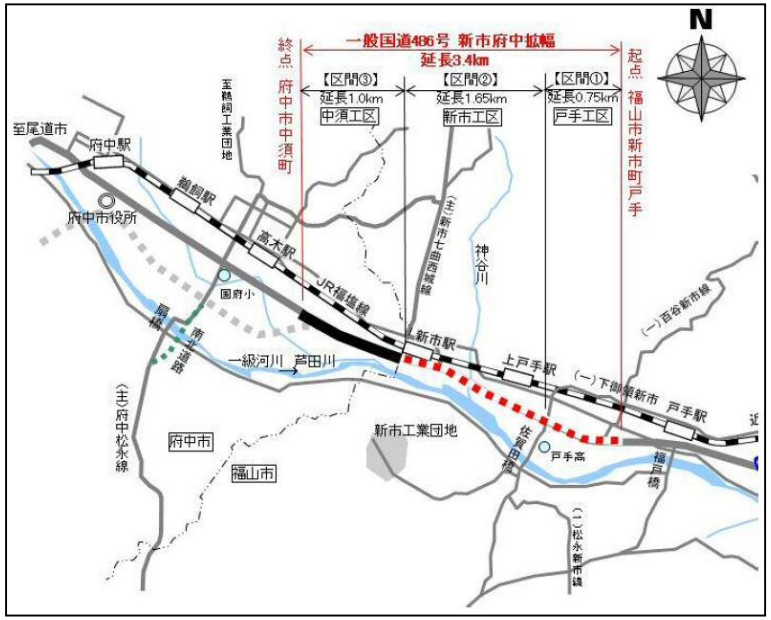
（ため池の廃止[堰堤解体]）

(3)一般国道486号線の交通渋滞対策について

Hiroshima Prefecture 広島県

- 朝夕の慢性的な交通渋滞の解消による円滑な交通確保に向け、一般国道４８６号のうち、福山市新市町戸手～府中市中須町の3.4km区間の４車線化を推進
- 平成9年度に事業着手し、平成29年度に中須工区（1.0km）を供用開始
- **平成31年４月、重要物流道路に指定**
- 今年度は、**12億円余の予算を確保**し、戸手工区の工事、新市工区の用地買収を促進





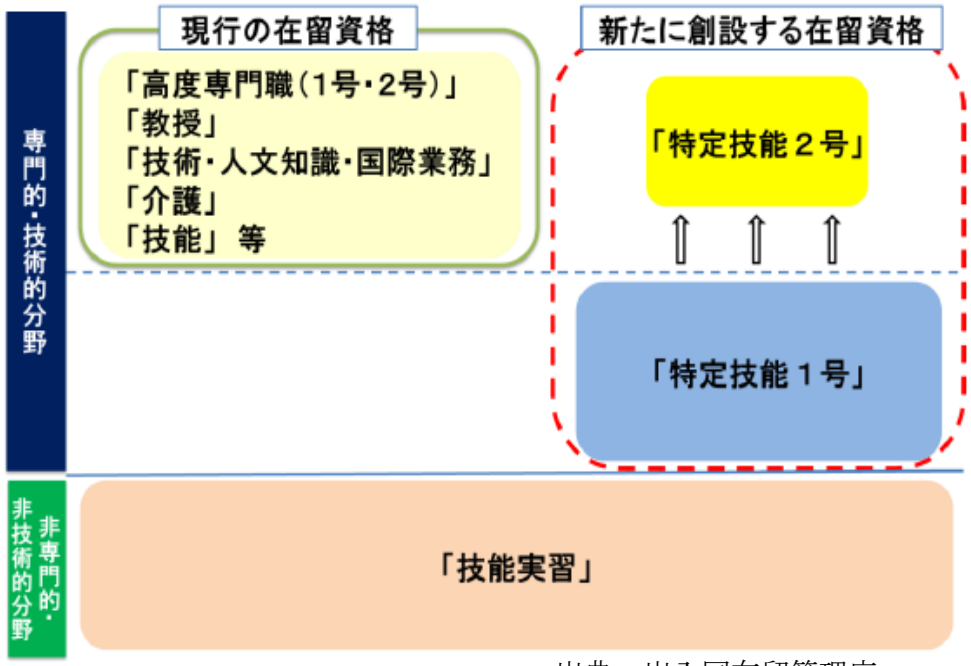
（4）外国人労働者の受け入れ拡大に向けた対策について

新たな在留資格「特定技能」とは

中小企業などで深刻化する人手不足に対応するため、平成31年４月施行の改正出入国管理及び難民認定法に基づき、特定産業分野（14分野※）を対象として、**一定の専門性・技能を有し即戦力となる外国人材を受け入れるために創設**

【14分野】
介護業、ビルクリーニング、素形材産業、産業機械製造業、電気・電子情報関連産業、建設業、造船・舶用工業、自動車整備業、航空業、宿泊業、農業、漁業、飲食料品製造業、外食業

【就労が認められる在留資格の技能水準】



出典：出入国在留管理庁

【特定技能の資格区分】

	特定技能1号	特定技能２号
滞在期間	１年、６月又は４月ごとに更新 最長５年（更新不可）	３年、１年又は６月ごとに更新 更新により上限なし（永住可）
対象分野	上記14分野	建設業、造船・舶用工業のみ
家族の帯同	基本的に求められない	帯同可（配偶者、子）

外国人労働者の受け入れ拡大に向けた対策について

本県の取り組み

取 組 方 針

- ➢企業において「貴重な戦力として活躍できる就労環境の整備」
- ➢地域において、「安心して暮らせる生活環境の整備」

→ **外国人材から選ばれる広島県を目指した取組を進める**

庁内横断プロジェクト・チームの設置

外国人材の受入・共生対策	多文化共生の地域づくり支援
◎外国人材受入に係るセミナー開催 県内3か所程度で実施	◎外国人専門相談窓口の拡充 一元的かつ多言語で案内できる相談窓口の拡充 ・ワンストップ相談窓口の改修 ・相談窓口への弁護士等の配置
◎外国人材雇用企業の実態調査 （対象）企業5,000社、監理団体130程度	
◎外国人材の就労意向調査 （対象）5,000人程度	

Hiroshima Prefecture 広島県

（5）広島県ナースセンター・サテライト福山の開設について

エフピコRiMふくやま6階 7/3 WED OPEN!

看護職のみなさまの就職活動を無料でサポート！

看護職の無料職業紹介

専任の看護職相談員が求職・求人相談に応じます。

復職支援研修

不安なく再就業するためのセミナーや病院、訪問看護ステーションでの実践研修等を行なっています。

相談窓口

看護に関して、ご相談やご意見のある方は何でもご相談ください。

TEL 084-973-5122　FAX 084-973-5123

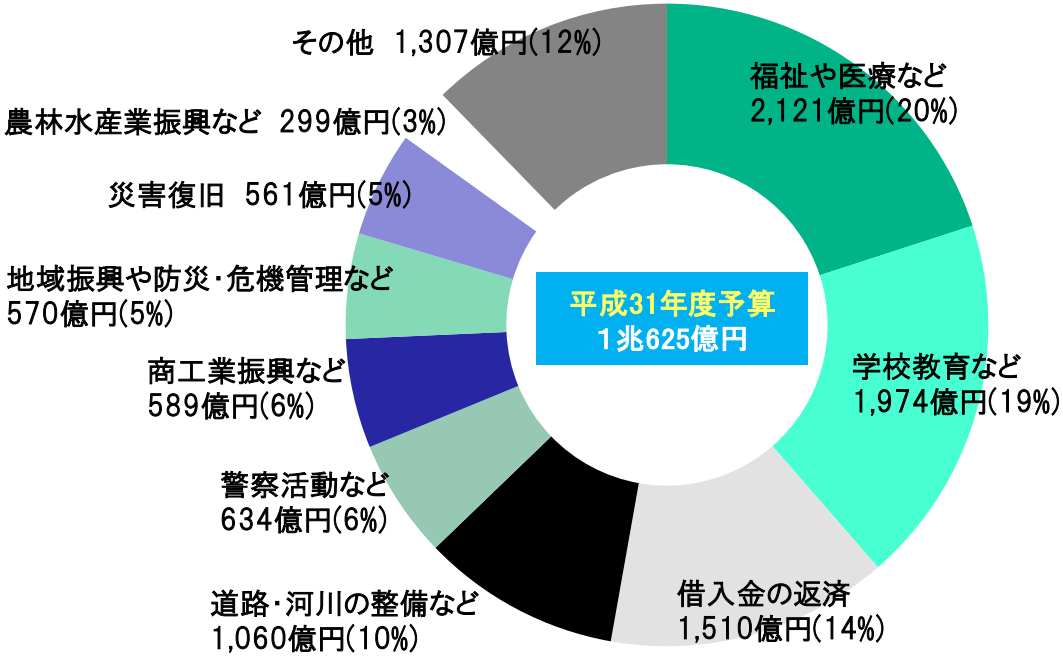
受付 【来所相談】10:00～17:15（予約優先）　【電話相談】8:30～17:15

休 日曜日、月曜日、祝日、12/29～1/3

(6)令和元年度の当初予算総額等について（創造的復興予算）

Hiroshima Prefecture 広島県

～　当初予算額としては、県政史上初めて前年度より1千億円以上の増加　～



未来に挑戦する産業基盤の創生

- **被災企業・農業の事業再建**
  事業活動の再建や、農林水産業における生産活動の早期再開に向けた支援に取り組みます。
- **観光産業の復興・拡大**
  災害により落ち込んだ観光需要の回復に集中的に取り組みます。

将来に向けた強靭なインフラの創生

- **公共土木施設等の強靭化**
  被災した公共土木施設等について、災害復旧事業や改良普及事業などに最優先で取り組みます。
- **防災・減災対策**
  防災・減災対策についても加速化を図り、県土の強靭化を進めます。

安心を共に支え合う暮らしの創生

- **被災者の生活支援**
  被災された方々が、一日でも早く日常の生活を取り戻せるよう、一人ひとりに寄り添った包括的な支援を行います。
- **地域コミュニティの再生**
  今回の災害で重要性が再認識された地域コミュニティの再生を推進します。

新たな防災対策を支える人の創生

- **災害から命を守るための 適切な判断と避難**
  災害時に、県民一人ひとりが適切に判断し、避難行動をとれるよう、防災や行動科学の有識者を交えた研究を行い、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の取り組みを強化していきます。

（7）福山エストパルク等の県有地信託事業の精算について

1　県有地信託事業制度

・バブル経済で異常な地価高騰が続いていた昭和６１年に、地価抑制を図りながら公有地の一層の有効利用を図る目的に、公有地においても土地信託ができるよう、国が地方自治法を改正。

・信託銀行に公有地を委ねて都市の再開発や街づくりに資する収益物件を建設、運営させ、さらに、自治体は配当まで受け入れるという仕組みが信託事業の仕組み。

2　本県の県有地信託事業

・賃貸事務所等複合ビルの建設による都市機能の充実を図る観点から、平成３年６月から、エストパルク、平成４年５月から、広島クリスタルプラザを事業開始

3　本県の県有地信託事業の現状

（単位：百万円）

		エストパルク（福山市東桜町）			広島クリスタルプラザ（広島市中区中町）		
		計画値(A)	実績(B)	差(B-A)	計画値(A)	実績(B)	差(B-A)
収入累計		15,241	8,924	▲6,317	35,365	18,452	▲16,913
支出累計		10,545	5,430	▲5,115	20,574	13,877	▲6,697
収支差額		4,696	3,494	▲1,202	14,791	4,575	▲10,216
配当累計		2,123	475	▲1,648	8,222	34	▲8,188
借入金	借　入	1,615	2,860	1,245	6,841	9,227	2,386
	返　済	1,421	2,473	1,052	5,622	2,301	▲3,321
	残	194	**387**	193	1,219	**6,926**	5,707

総額７０億円を超える借入金残

4　今後の方針等

・知事は、当該信託土地（不動産評価合計40億円程度）を精算すること表明

・それでも、なお、３０億円程度の新たな県民負担が生じる可能性がある。

（8）議会の広報活動について

Hiroshima Prefecture 広島県

県民の皆様の県議会に対する関心を高めるとともに理解を深めるため、県議会の活動状況について、ホームページ、広報紙、テレビ番組などにより、広く情報発信しています。

（1）ホームページ　https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/gikai/

- 議会活動に関する様々な情報を提供
- 県議会のことを楽しく学習するための教材として、**「キッズサイト」を開設**
- 本会議の全ての審議、予算特別委員会及び決算特別委員会の総括審査の模様を生中継及び録画中継
  スマートフォン等での視聴に対応するため、ユーチューブによる配信

この9月から常任委員会等にも拡大し配信スタート！！

子供議会の開催、タブレットの導入などに続く議会改革提言の実現

（2）広報紙「ひろしま県議会だより」

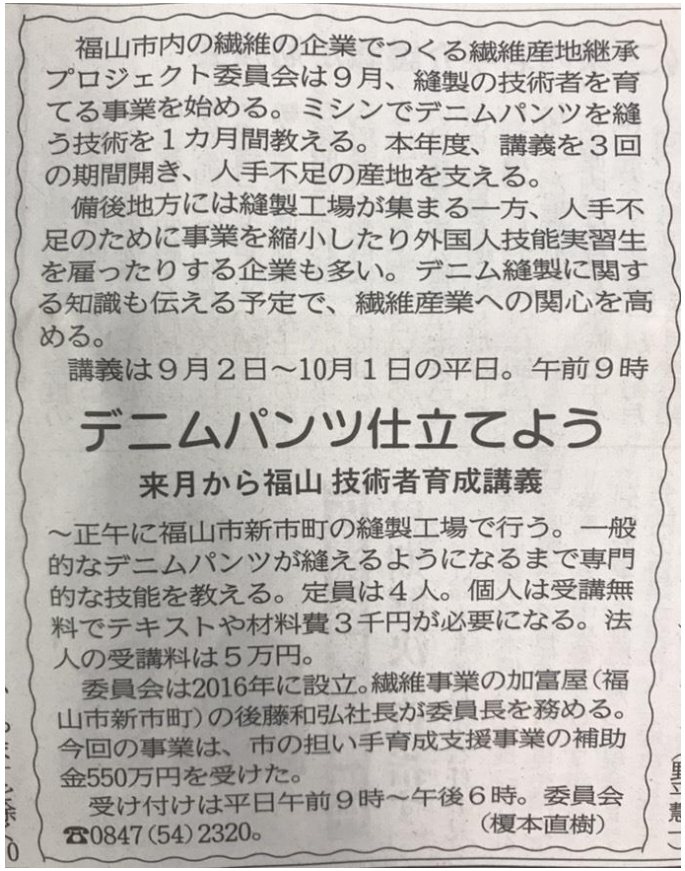
- 本会議における主な質疑とその答弁要旨等の議会の審議概要や主な議案などを紹介
- 定例会ごとに**年４回発行**
- 新聞折り込み等により配付。**発行部数は905,000部／回**
- 年間予算額は、約3,200万円

（3）テレビ番組「ひろしま県議会ダイジェスト」

- 本会議における質疑・答弁を初め、定例会の状況などを分かりやすく伝えるために放送
- 定例会ごとに**年４回放送**
- ケーブルテレビで再放送
- 年間予算額は、約1,203万円

（9）主な地域活動について

・繊維産地継承プロジェクト委員会
・福山市担い手育成支援事業の助成に選定



福山市内の繊維の企業でつくる繊維産地継承プロジェクト委員会は９月、縫製の技術者を育てる事業を始める。ミシンでデニムパンツを縫う技術を１カ月間教える。本年度、講義を３回の期間開き、人手不足の産地を支える。

備後地方には縫製工場が集まる一方、人手不足のために事業を縮小したり外国人技能実習生を雇ったりする企業も多い。デニム縫製に関する知識も伝える予定で、繊維産業への関心を高める。

講義は９月２日～10月１日の平日。午前９時～正午に福山市新市町の縫製工場で行う。一般的なデニムパンツが縫えるようになるまで専門的な技能を教える。定員は４人。個人は受講無料でテキストや材料費３千円が必要になる。法人の受講料は５万円。

委員会は2016年に設立。繊維事業の加富屋（福山市新市町）の後藤和弘社長が委員長を務める。今回の事業は、市の担い手育成支援事業の補助金550万円を受けた。

受け付けは平日午前９時～午後６時。委員会☎0847（54）2320。

（榎本直樹）

デニムパンツ仕立てよう

来月から福山 技術者育成講義

令和元年8月22日中国新聞掲載

ディスカバーリンクせとうちと<u>NOTE</u>協働で活動開始

（NIPPONIAブランドで日本全国で地域活性化に取組む）

NOTEホームページ　https://team.nipponia.or.jp/

株式会社ディスカバーリンクせとうちホームページ　https://www.dlsetouchi.com/